

日本鐵鋼協會第21回通常總會記事

開會日時 昭和11年4月5日(日曜日)午前11時30分
 閉會 " (")午後0時8分
 會場 東京市本郷區本富士町東京帝國大學工學部第
 二號館大講堂

準備書類

1. 日本鐵鋼協會第21回通常總會開催通知狀
2. 會長、理事並評議員(半数)任期満了退任者及候補者推薦の件、投票用紙及委任狀添付

3. 正會員名簿
4. 日本鐵鋼協會定款改正案

以上郵送

5. 昭和10年度會務報告並昭和10年度會計報告書
6. 第6回服部賞金受領者推薦理由書
7. 第2回依賞金受領者推薦報告

以上は受付にて配布

日本鐵鋼協會第21回通常總會開會の辭

社團法人日本鐵鋼協會代表理事

工學博士 水谷叔彦

只今から第21回通常總會を開きます。會長が缺員でありますから私が代理を致します。本日の出席正會員は250名、委任狀373通で合計623名であります。定款に照合して此の總會は成立したものと認めます。(拍手)

議事に入ります前に、例に依りまして前年度中の我が鐵鋼界の概要に就て御話を申し上げます。尙時間省略の爲に極く主要なる點のみを申し上げたいと存じます。

昭和10年は前年に引續きまして、製鐵、製鋼の事業は非常な活況を呈して居ります。鋼材の總生産高を見ますと386萬噸でありまして、前年に比しまして10%程の増加になつて居ります。又鋼塊、鑄鋼を合併致しまして、生産が483萬噸でありまして、前年に較べまして21%程の増産になつて居ります。それから銑鐵の生産は211萬噸でありまして、是は前年に比しまして約9%程の増産になつて居ります。次に屑鋼に就て申し上げますと、循環屑共約140萬噸と推定されます。

次に鐵鋼の輸出輸入の事を申し上げます、先づ輸出に付き申しますと、10年の鋼材の輸出額が7,080萬圓でありまして、之に亞鉛引鋼板の輸出額の1,800萬圓を加へますと、合計8,880萬圓程の輸出になつて居ります。

然るに輸入の方面に於きましては、鋼材が6,400萬圓、其の他の素材として輸入されました鋼塊、鋼片等の半製品が1,850萬圓、合金鐵が60萬圓、銑鐵が4,150萬圓、屑鋼が8,620萬圓等でありまして、輸入額の合計が約2億1,060萬圓程になつて居りまして、差引輸入超過額が1億

2,280萬圓程になるのであります。自給自足にはまだ多大の距離があるやうに思はれるのであります。

次に設備につき申し上げます、前年中に於ける我國の設備の増加は平爐が合計13基、此の年能力が92萬噸のものが増設されたのであります。此の中で日本製鐵株式會社の4基は最新式の鑛石法に依るものでありまして、近年屑鐵輸入増加のことに鑑みまして、本邦將來の製鋼方針に一大示唆を與へるものと存じます。

次に壓延機の増設に就きましては、10年度中に増設されました壓延機は約40基でありまして、其の年能力は約47萬噸でございます。此の大部分は鋼板用の壓延機でありまして、主なものも薄板用のものでありまして其中には我國最初の帶鐵の壓延機が含まれて居ります。又改造に依つて能力の増加致したものが約8萬噸でございます。其の外滿洲に於きまして5基増設をされまして、此の全能力が26萬噸であります。

次に鐵鋼の需要供給に就て申し上げます。鋼材の生産高は前に申し上げました通り386萬噸、輸入されましたものが32萬噸、合計418萬噸でありまして、前年に比しまして12%の増加になつて居ります。輸出は45萬噸でありまして、差引國內の需要と云ふものは373萬噸になるのであります。次に鋼塊であります、鋼塊は鑄鋼を合しまして生産高が460萬噸、之に輸入の23萬1,000噸を加へますと、國內の需要は483萬1,000噸と云ふ勘定になります。次に銑鐵及び屑鋼であります、先づ銑鐵の内地の生産は

211 萬噸でありまして、滿洲、露西亞、印度其の他より輸入しましたものが 97 萬噸あります。合計 308 萬噸と云ふことになりませんが、此の中で特殊銑鐵の約 8 萬噸を除きますと、残りの 300 萬噸が製鋼及び鑄物用に使はれたと云ふことになり。次に屑鋼のことを申し上げますと、輸入は 173 萬噸でありまして、それから内地の生産は先刻申し上げます通り約 140 萬噸であります。

次に外國との比較を搔摘んで申し上げますと、前年即ち昭和 10 年に於きまする世界鋼塊の全産額は 9,800 萬噸でありまして、前年に比しまして約 21% の増加でございます。此の増産の順位を申しますと、亞米利加、獨逸、露西亞、英吉利、佛蘭西、次に我國であります。我國の増加率も世界の平均増加率と同じく 21% であります。我國の鐵鋼産額は近來著しく増加しましたが、尙全世界の産額の僅かに 5% に過ぎない次第でございます。

次に製鐵鋼業の全般に關して一言申し上げたいと存じます。我國の鐵鋼界は昭和 10 年度に於きまして、生産及び供給共に新記録を作りまして、國內の需要を充たし尙十數萬噸の輸出超過となつて居ります。又設備の方面に於きまして、平爐、壓延機等の新設が實現致しまして着々改善さ

れて参りますのは洵に慶賀の至りに堪えないのであります。茲に最も注意を喚起しなくてはならぬことは約 170 萬噸の屑鋼の輸入並に相當巨額の銑鐵の輸入に依存する我國の製鐵、製鋼業の缺陷であります。若し一朝有事の際に於きましては、此の屑鋼及び銑鐵の輸入の途が絶え忽ち行詰りの運命に立到る虞れのある事は勿論、平時に於きましても極めて不安定なる状態でありまして申すまでもない次第であります。此の二つの點の由つて來たる所を率直に申しましたならば、第 1 に、我國内に於ける銑鐵の生産高が不足と云ふこと、第 2 には屑鋼製鋼法を主とする製鋼工場の多數であるが故と存ぜられます。第 1 の場合に就きまして、之を世界各國の例に徴しますると、世界各國の銑鐵の生産は鋼塊の生産に對して 7 割 5 分になつて居るやうに存じます。然るに我國に於きましては 5 割と云ふ數字を示して居ります。今後は此の不足する製銑設備の充實を圖ることが最も大切でありまして、殊に之に關聯する製鋼一貫作業に依る優秀なる製鋼設備の増設せられることが我國の製鐵、製鋼業に對しまして最も必要なることと考へられるのであります。是で私の話は終ることに致します。

(拍手)

議 事

二、會長、理事、評議員(半数)改選(投票・開票)

○議長(水谷叔彦君) それでは是から議事に移ります。御手許にお配り致しました印刷物の順序に依り御諮りすべきであります。時間省略の爲め議事(二)の會長、理事、評議員(半数)改選の投票・開票を誰方かに御立會ひを願ひまして、別室に於て開票を願ひ其の間に、他の議事を進めたいと存じますが、御異議はございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(水谷叔彦君) まだ御投票の済まぬ方はどうぞ御投票を願ひます。——誰方もないやうでございますから、評議員の金子(恭輔)博士、石川(登喜治)博士に御立會ひを願ひたいと思ひます。

(別室に於て金子、石川兩氏立會の上開票)

一、昭和 10 年度會務報告

○議長(水谷叔彦君) 議事(一)の昭和 10 年度會務報告でございますが、是は御手許に印刷物として御廻しをしておりますからして、一々其の詳細なる事は申し上げませぬが、極く重要な事だけを搔摘んで申し上げることに致します。第 1 に申し上げたい事は、會長野田博士が此の 1 月に薨去されましたことは本會として洵に痛惜に堪えぬ次第でございます。又賛助會員の木村久壽彌太君の長逝されましたことも御同様哀悼の至りに堪えぬ次第でございます。

會務報告の第 1 に會員數を申し上げます。會員は昨年來非常に増加致しまして、本年 2 月 29 日現在に於ける會員數は、名譽會員が 17、維持會員が 44、賛助會員が 16、正會員が 933、准會員が

979、合計 1,990 名であります。前年に比しまして 276 名の増加であります。其の後此の 3 月に入りましてから又入會の方がありまして結局今日では 2,000 名を越えることになつたのでございます。次には基金募集の事に就きまして申し上げます。昨年製鐵、製鋼關係の諸會社に願ひまして、本會の事業擴張のため基金の御寄附又は維持會員の口數の御増加を御願ひ致しましたところ、いづれも御快諾下さいまして、維持會員の維持口數は 80 口の増加。基金は約 3,200 圓の御寄附を得ました。洵に本會の感謝に堪えないことでございます。以上の如き御好意に依りまして、基金募集の目的通り事務所を移轉致しまして圖書室を設けました。圖書は今尙貧弱であります。會員諸君は將來之を御利用あらんことを希望致します。次に外國雜誌等も是までは購入する力はございませぬでしたが、只今の御寄附等に依りまして、外國雜誌等も購入することに致したのであります。尙製鐵、製鋼に關する資料編纂に就きまして、先づ以て鐵鋼要覽と申しますか、鐵鋼便覽と申しますか、その編纂に着手することに致しまして、俵博士を委員長に、河村博士を副委員長に御願ひを致しまして目下編纂方法等に就て立案中であります。此の便覽の編纂に就きましては自然會員諸君の中に御協力を願ふこともあらうと存じますから其の節は宜しく御願ひを申し上げます。

次に香村賞、服部賞、俵賞はいづれも 10 年の 4 月に贈呈式を行ひました。それから 10 年の 4 月の創立 20 年記念大會に於きましては、製鐵功勞者に賞牌を贈呈し、尙物故製鐵功勞者及び會員の追悼會を舉行致しました。それから前年中前會長河村博士より 5,000 圓の寄附を受けました。是は御寄附の際の御希望の條件に適ふやう取扱規則の制定を致しまして、會誌に載せて置きました